

地域おこし協力隊インターン募集案内(ルーツを探る古文書調査)

お誘い

その地のルーツは、地域住民の礎となり誇りにつながるとともに、物語を生み出し、観光や地域づくり等、地域活性化に一役買うことが多くあります。そうしたルーツは各家庭に残る古い文書（古文書）や古老の語りによって知ることができます。

栄村は古民家が多く、そのような文書がまだまだ家庭に残っています。また、令和4年2月に60年ぶりとなる栄村の歴史や生活、自然環境をまとめた『栄村誌』が刊行されましたが、いまだ目録の作成が未完であるなど調査されていない古文書が多くあります。私たちの先人は、その時何をしていたのか、どう乗り越えたのか、ここ数年目にするようになったSDGsや脱炭素・ウェルビーイングといった変容の先の未来には、これまで受け継がれてきた自然と共に生きる暮らしの知恵が活かされるのではないかと期待しています。そういった私たちの新たなルーツの発見に、立ち会ってくれる方を募集します

活動の内容

○古文書調査

インターンの事業として、栄村の役場がある「森集落」の中心となる家であった、広瀬家に残された古文書の目録作りを行います。

また、住民が文書をもって訪問した場合、職員と一緒にその対応をします。

以下は長期のインターンの場合及び協力隊の正採用となった場合お願いしたい内容です。

○調査をもとにした、集落出張講座

文書に記された集落へ出向いて古文書講座を行い、地域住民と交流をします。おそらく、地元住民との対話の中から、文書に記されたことからと言い伝えを照らし合わせるができるかもしれません。

○公民館報への掲載

古文書調査によって分かったこと等を公民館報に掲載し、多くの村民に発信します。

○栄村歴史文化館こらっせにおける古文書等の保存・管理及び整理

栄村には古文書等多くの資料がありますが、整理や調査がなかなか進まず、もらい受けそのままになっている資料も多くあります。こらっせの展示や資料整理に長年協力をいただいている「地域史料保全有志の会」及び長野県の関係部署等と協力しつつ、保存・管理・整理・調査を行っていただきたいと思います。